

シンポジウムが盛会裏に終了しました

2012年9月10日(月) 13:00~17:30 東京大学本郷キャンパス山上会館にて、日本マクロエンジニアリング学会シンポジウムが開催され、盛会裏に終了いたしました。

【基調講演】

「イスラムマネーの奔流・日本に押し寄せる1000兆円の津波」

北村陽慈郎 (アラブ経済研究所所長)

(内容) サハラ・ソーラー・ブリーダー計画についてご説明いただきました。



基調講演の様です。

【報告】

1. 震災後の経済政策

吉野 文雄 副会長(拓殖大学教授)

(内容) 震災後1年半を経過して、東北経済がどのように変化しているのかご説明をいただきました。

2. 公平で脱税不能で低徴税費の<e-税(いいぜー)>制度の提案

柳下 和夫(情報総合研究所)

(内容) 貨幣を廃止し電子マネー社会に移行することで、金銭の授受がすべて把握でき、課税コストが低減できるというご提案をいただきました。

3. PES(生態系サービスへの支払い)の現状

渡邊 隆俊(愛知学院大学)

藤川 清史(名古屋大学教授)

下田 充(日本アプライドリサーチ研究所)

(内容) 「生態系サービスへの支払い(PES)」の概念およびその把握、計測、評価についてご説明いただきました。

4. 東日本大震災における岩手県を事例とした「参加型復興(開発)の手法と理念」その2

新田 義修(岩手県立大学 総合政策学部 講師)

(内容) 陸前高田市の近況について、ミクロ的な視点から震災復興1年半を経過した現状と課題についてご説明いただきました。

各報告とも、多くの質疑がなされました。

文責: 茂木 創(日本マクロエンジニアリング学会理事長)